

まちのわだい

～カメラスケッチ～



大勢の子どもたちが参加



子ども花火フェスを開催

新型コロナウイルス感染症の影響で、町内のさまざまなイベントが中止になったことを受け、町民有志でつくる「子どもたちと楽しむ会（谷口武彦代表、会員6人）主催の「子ども花火フェス」が、8月15日に町公民館で開かれました。

会場には、子どもや保護者ら合わせて約80人が訪れ、手持ち花火や置き型の吹き出し花火を楽しみ、短い夏の夜を過ごしていました。

わくわく園 5歳児が採蜜を体験

わくわく園の5歳児が、地域の人との触れ合いやミツバチの生態、蜂蜜について関心を持つことを目的として、8月20日に菅野養蜂場を訪れました。

園児たちは、ミツバチや巣を観察したり、採蜜をするなど、貴重な体験を真剣な表情で取り組んでいました。

今回、採蜜した蜂蜜は給食で使用されます。



未来のワタシへ



訓中3年生が美術作品を制作

訓中3年生31人が美術の課題として、「今のワタシから、なりたい未来のワタシへ」をテーマに、インスタレーションアート（各自制作した作品を点させながら展示することで、一つの作品として完成）の美術手法を用いて作品を制作しました。

美術担当の小久保教諭は「個性あふれる作品の数々を通して、生徒の思いを知り、理解してもらえたら」と話していました。

商工会青年部が消毒液寄贈

訓子府町商工会青年部（佐野裕章部長、会員17人）の活動の一環として、8月6日に町内の各教育施設や福祉施設10か所にアルコール消毒液が寄贈されました。

今回の寄贈は、新型コロナウイルス感染症の影響で、町内の祭りやイベントが中止となったことに伴い、町に何か還元できないかとの思いで企画されました。

消毒液は、1,000ml入り12本が配布され、各施設により良い環境づくりに活用されます。



ゆめゆめ館で七夕まつり

ゆめゆめ館の七夕まつりが、8月7日に行われ、夏のひとときを過ごしました。

〇×クイズやビンゴゲーム、くじ引きなどが行われ、参加した児童たちは、元気いっぱいに楽しんでいる様子でした。



野生大麻撲滅 約1万本を除去

町内に自生する大麻の集団抜き取り作業が、8月6日に行われ、北見保健所、警察、町職員など合わせて約30人が参加しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数を制限して実施しました。

参加者は、野生大麻を1本1本抜き取り、撲滅に向けて汗を流していました。



今月の1枚

町の素敵な瞬間を紹介しています。

今月は「小麦の刈り取り作業」です。

